

総合戦略体系（素案）について

基本目標を細分化した戦略体系（素案）別紙1を定め、市民等からのアイデア募集および所管部署の個別事業の洗い出しに活用します。

アイデア募集について

幅広く、市民の意見を取り入れた総合戦略とするため、以下のとおり地方創生に資する取り組みのアイデアを募集します。

（おもな募集方法）

広報やホームページを活用した募集（一部実施中）
十和田市総合戦略会議委員からのアイデア提案
グループヒアリング 等

※アイデア提出の様式は任意です。

※参考様式として、記入用ワークシート別紙2を用意しました。

ご都合にあわせてご利用ください。

総合戦略策定ワーキンググループについて

◆グループ構成について

基本目標に連動した以下の4グループで構成。

雇用創出、移住・定住促進、少子化対策、地域づくり

◆課題・論点設定について

各グループに設定する課題・論点（案）は別紙3を想定。

【強みの確認】、【成長余地】、【モデルケース】

→論点に基づく分析から、およその傾向、地域の伸びしろを見出し、より良い解決策の選択につなげる

総合戦略取組決定までの流れ（イメージ）

戦略体系（素案）の提示



時期	十和田市による 取組みの具体化	市民等による アイデア提案	ワーキング グループ
7月	既存の取組みを整理 新規取組みを検討	市民等から 幅広く意見募集 ↓ 提案内容を 事務局で整理 (政策財政課)	基本目標毎の 地域の強み、 成長余地、 モデルケース等 の検討
8月	戦略体系に基づく個別事業の 洗い出し	↓	↓
9月	市民等のアイデア提案、 ワーキンググループの検討内容 を踏まえ継続検討	共有	
10月	取組みの優先順位付け	共有	
11月	総合戦略（素案）への掲載決定		

<十和田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 戦略体系（素案）>

政策（基本目標）		基本戦略（素案）	具体的な施策（例）
Ⅰ	安定した雇用を創出する	農業振興	農産物の生産力・販売力の強化、担い手の育成、農業経営の安定化、6次産業化、地産地消の推進 多様な関わり手による農業振興
		商工業振興	地元商業活動の活性化、地元調達・地元消費の促進、事業者の経営力向上、企業誘致、起業・継業支援（経済支援、人材育成等）、コミュニティ・ビジネスの推進
		観光業振興	地元調達・地元消費の促進、観光資源の魅力強化、情報発信、誘客活動の強化、観光客受入環境の整備・充実
		就労環境の充実	若者・女性の就労支援（資格取得支援、求人情報専用サイトによる発信等）
Ⅱ	地方への新しいひとの流れをつくる	情報発信	総合的なシティプロモーション（アートや現代建築を活用したイメージ発信等）
		定住促進	子育て世帯等向けの住環境整備（アーティストや建築家のプロデュース住居整備等）、定住支援（インセンティブ付与等）、快適な住環境の整備
		移住促進	主に大都市部からのUIJターン起業支援、地元企業のUIJターン採用支援、移住体験プログラムの展開
Ⅲ	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	出会い・結婚の支援	カップルが過ごしやすい活動支援（街コンイベント等）、結婚・子育てに関する情報発信・教育
		出産・子育て支援の充実	経済的支援、母子保健の充実、子育て環境の整備、保育サービスの充実、子育てサークル支援、企業における子育て環境整備
		子ども教育の充実	幼稚園・学校教育の充実、習い事等の経済支援
Ⅳ	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	健康増進	子ども・勤労世代・高齢者それぞれの健康増進、健康寿命延伸に向けた取組、地域包括ケアシステム整備
		地域ブランディング	文化資源の強化・活用、シビックプライド（地元愛）創出
		コミュニティの活性化	地域運営組織の立ち上げ支援、小さな拠点の整備、ソーシャルビジネスの推進
		高等教育機関との連携	北里大学等との連携、学生活動の促進
		人材交流	多分野・組織の人材の交流・情報交換・連携、自治体間連携
		自然環境の保全・活用	自然環境の保全・活用

*** 総合戦略掲載事業アイデア記入用ワークシート作成について ***

□本シートは、十和田市が定めた「まち・ひと・しごと創生」の4つの基本目標の達成に向け、行政と民間事業者の密な連携・協力のもと、今後5年間に推進すべき個別具体の事業アイデアを記入するためのものです。戦略会議委員の皆様が地方創生に関する提案を行う場合、参考様式として本シートをご活用ください。

◆「まち・ひと・しごと創生」の基本目標

- ①地域における安定した雇用を創出する
- ②地域への新しいひとの流れをつくる
- ③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

□具体的なアイデアについては、上記に掲げた4つの基本目標の達成に向けて「人口の定住化又は地域の経済社会の活性化に資すること」が大前提となりますが、その他に特に制約はありません。

<ご記入いただく内容>

1 事業名称

例えば、「十和田市特産品の販路拡大事業」や「農業による定住自立事業」など、具体的な事業の名称をご記入ください。

2 該当分野

別紙1（※太枠内）を参照し、当該事業が該当する戦略分野をご記入ください。

3 事業の内容

どんな目的で、何を対象に、どんなことをやるのかを第三者でも理解できるよう、出来るだけ具体的にご記入ください。

4 期待される効果

上位に位置付けられる基本目標の達成に向け、当該事業の実際によって期待できる効果を具体的にご記入ください。

5 実施機関及び役割分担

十和田市を含めた当該事業の実施機関とそれぞれの機関が担うべき役割の内容を具体的にご記入ください。

※ワークシートの作成に関してご不明な点などがありましたら、下記までお問合せください。

十和田市役所政策財政課地方創生戦略係

TEL : 0176-51-6712

FAX : 0176-24-9616

MAIL : seisakuzaisei@city.towada.lg.jp

【総合戦略アクションプラン記入用ワークシート】

1 事業名称				
2 該当分野 ※該当する分野の行頭に◆を追記 ※その他の場合、カッコ内に具体的に記入	①地域における安定した雇用を創出する	②地域への新しいひとの流れをつくる	③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	④時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する
	①農業振興 ②商工業振興 ③観光振興 ④就労環境の充実 ⑤その他	①情報発信 ②定住促進 ③移住促進 ④その他	①出会い・結婚の支援 ②出産・子育て支援 ③子ども教育の充実 ④その他	①健康増進 ②地域ブランディング ③コミュニティの活性化 ④高等教育機関との連携 ⑤人材交流 ⑥自然環境の保全・活用 ⑦その他
3 事業の内容				
4 期待される効果				
5 実施機関及び役割分担	実施機関名	役割の内容		

【参考】ワークシートの記入例①

1 事業名称	十和田市特産品の販路拡大事業			
2 該当分野 ※該当する分野の行頭に◆を追記 ※その他の場合、カッコ内に具体的に記入	①地域における安定した雇用を創出する	②地域への新しいひとの流れをつくる	③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	④時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する
	①農業振興 ◆②商工業振興 ③観光振興 ④就労環境の充実 ④その他	①情報発信 ②定住促進 ③移住促進 ④その他	①出会い・結婚の支援 ②出産・子育て支援 ③子ども教育の充実 ④その他	①健康増進 ②地域ブランディング ③コミュニティの活性化 ④高等教育機関との連携 ⑤人材交流 ⑥自然環境の保全・活用 ⑦その他
3 事業の内容	<p>□新たに市外に地元の農産物及び特産品等を販売できる「(仮)とれったひろば十和田店」を設置し、地元産品の販路拡大を図ります。また、十和田ブランドの全国展開を目指し、インターネットによる販売や土産物売り場、JRキオスク等への販売を行います。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="379 992 892 1330">  <p><(仮)とれったひろば外観イメージ></p> </div> <div data-bbox="944 992 1457 1330">  <p><(仮)とれったひろば店内イメージ></p> </div> </div> <p>□「とれったひろば」のような直売所は、流通経路の確保のほか、生産者が消費者の反応を直に感じることができることから、生産者の作り手としてのモチベーションを高めることにもつながります。</p>			
4 期待される効果	<p>□地元産品等の販売の拡大により、生産者及び販売者の収益が向上し、安定した雇用の場の創出が期待できます。</p> <p>□地域ブランドの確立により、市全体のイメージアップや他都市における十和田ファンの獲得が期待できます。</p>			
5 実施機関及び役割分担	実施機関名		役割の内容	
	農業協同組合		「(仮)とれったひろば十和田店」の建設・運営	
	商工会議所		地元産品の販路拡大に向けた会員への協力依頼・調整	
	観光協会		地元産品の販路拡大に向けた販売店等への調整	
	十和田市		地元産品の販路拡大に向けた会員への協力依頼・調整	

【参考】ワークシートの記入例②

1 事業名称	農業による定住自立支援			
2 該当分野 ※該当する分野の行頭に◆を追記 ※その他の場合、カッコ内に具体的に記入	①地域における安定した雇用を創出する	②地域への新しいひとの流れをつくる	③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	④時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する
	①農業振興 ②商工業振興 ③観光振興 ④就労環境の充実 ④その他	①情報発信 ②定住促進 ◆③移住促進 ④その他 交流人口の増加.....	①出会い・結婚の支援 ②出産・子育て支援 ③子ども教育の充実 ④その他	①健康増進 ②地域ブランディング ③コミュニティの活性化 ④高等教育機関との連携 ⑤人材交流 ⑥自然環境の保全・活用 ⑦その他
3 事業の内容	□農作物をつくる体験型観光など、趣味として農業を行う人々に対する支援を推進しながら、農業後継者の育成に取り組み、農業を通じた新たな定住人口の確保も目指します。 □農業の体験型観光の実施について、短期的には農家への宿泊や耕作放棄地の整備ボランティアなど、農作業の手伝いから始めます。将来的には、市内に長期滞在型農園（農園付住宅）を設置するなど、定住化に向けて必要な支援を行います。 □農業後継者の育成は、I ターン希望者の募集等を通じた担い手候補の確保を図るとともに、農業経験者による指導等の取組を推進します。			
4 期待される効果	□農業を軸とした定住人口や交流人口の増加が期待できます。 □農家の作業支援を通じ、農業後継者の育成を期待できます。 □農園付住宅の利用を通じ、新たなライフスタイルの提案を行い、十和田市のイメージアップにつながります。			
5 実施機関及び役割分担	実施機関名	役割の内容		
	◎農業協同組合	受け入れ農家の確保、農業体験及び定住化支援に向けた調整、農業後継者育成に向けて必要な支援		
	ディベロッパー	農園付住宅の建設・入居募集		
	十和田市	具体的な実施内容の検討		

ワーキンググループに設定する課題・論点

雇用創出

- 市外から「稼ぐ力」の強い業種は何か。【強みの確認】
- 地域内消費と供給のバランスはどうか。
- 今後、地域経済発展に資する重点分野は何か。【成長余地】
- 促進にあたり、どのような仕組みが必要か。【モデルケース】

移住・定住促進

- 「住みやすさ」のアピールポイントは何か。【強みの確認】
- 呼び込みやすいメインターゲットは誰か。【成長余地】
- 促進にあたり、どのような仕組みが必要か。【モデルケース】

少子化対策

- 「出会いやすさ・結婚しやすさ・出産しやすさ・育てやすさ」
のアピールポイントは何か。【強みの確認】
- 取組の空白地帯はどこか。【成長余地】
- 促進にあたり、どのような仕組みが必要か。【モデルケース】

地域づくり

- 市民が感じる市の魅力・愛着は何か。【強みの確認】
- 市民をより豊かにするライフスタイルは何か。【成長余地】
- 各地区の特性を活かすにあたり、どのような仕組みが必要か。【モデルケース】